

埼玉県立長瀬げんきプラザ指定管理者候補者の選定結果について

埼玉県教育局教育総務部生涯学習推進課

令和7年7月3日から募集を開始した埼玉県立長瀬げんきプラザの指定管理者については、埼玉県議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

1 長瀬げんきプラザ指定管理者について

指定管理者：株式会社サンアメニティ

東京都北区王子3丁目19番7号

代表取締役 大隈 太嘉志

2 指定の期間について

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

3 応募の状況について

（1）現地説明会への参加団体数

令和7年7月28日実施説明会 8団体

（2）応募申請団体数

・令和7年9月8日締め切り 3団体

・申請団体の内訳

ビルメンテナンス会社 1団体

NPO法人（環境保全関係） 1団体

グループ申請 1団体（ビルメンテナンス会社、
NPO法人（自然体験活動関係））

4 指定管理者候補者の選定について

（1）選定基準

1 審査基準

- ① 県民の平等な利用を確保することができる。
- ② 関係法令を遵守し、適正な運営ができる。
- ③ 設置目的を効果的に達成し、効率的な運営ができる。
- ④ 指定管理業務を安定して行う経営基盤を有している。
- ⑤ 個人情報の適正な取扱いが確保できる。

2 審査項目

- ① 県が設置する公の施設としての役割を適切に担うことができるか。

- ② 本店又は主たる事務所の所在地が県内であることに対する加点。
- ③ 利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか。
- ④ 県民の平等利用確保への配慮がされているか。
- ⑤ 効果的かつ効率的な管理を実施できるか。
- ⑥ 法人等の経営基盤が安定しているか。
- ⑦ 効果的な自主事業を実施できるか。
- ⑧ 指定管理業務に係る県の委託料（算出した額）は適切な額か。
- ⑨ その他、特筆すべき優れた提案に対する加点。

（２）選定委員会の委員

氏名	職業等
山本 照恵	ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
松村 純子	亜細亜大学特任教授
山本 和人	東京家政大学名誉教授
井深 道子	長瀬町教育委員会教育長
和田 正夫	公認会計士
塩崎 豊	埼玉県教育局教育総務部副部長

（３）第１次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

○ 審査結果

応募者３団体中、３団体を第２次審査対象団体としました。

（４）第２次審査について

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリング等による審査を実施しました。

○ 審査結果

審査項目（配点）		株式会社 サンアメニティ	団体 A	団体 B
県が設置する公の施設としての役割を適切に担うことができるか	150 点	110 点	104 点	90 点
本店又は主たる事務所の所在地が県内であることに対する加点	30 点	0 点	0 点	30 点
利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか	150 点	110 点	107 点	88 点
県民の平等利用確保への配慮がされているか	60 点	42 点	38 点	36 点
効果的かつ効率的な管理を実施できるか	150 点	103 点	92 点	85 点
法人等の経営基盤が安定しているか	90 点	60 点	63 点	50 点
効果的な自主事業を実施できるか	240 点	180 点	162 点	133 点
指定管理業務に係る県の委託料（算出した額）は適切な額か	180 点	120 点	106 点	99 点
その他、特筆すべき優れた提案に対する加点	30 点	20 点	20 点	15 点
合計点	1,080 点	745 点	692 点	626 点

○ 株式会社サンアメニティの選定理由

ア げんきプラザの設置目的や県の施策を十分に理解しており、社会教育施設をはじめとした指定管理業務の実績が豊富であることに加え、利用者ニーズの把握やその対応方針など、利用者本位の柔軟なサービスの提供が期待できる。

イ 荒川や宝登山をはじめとした周辺の観光資源を生かした体験活動など、施設の特徴を踏まえた多彩な事業の提案や、冬季におけるキャンプ利用の促進など、閑散期の利用拡大が期待できる事業が提案されている。

ウ 職員の充実した配置や職員への計画的な危機管理研修などが提案されており、指定管理者として安心・安全な施設運営が期待できる。

エ 安定した経営基盤を有している。

○ （参考）選定委員の主な意見

団体名	意 見
株式会社サンアメニティに対する主な意見	・ 冬季キャンプの利用促進など冬季の利用拡大に向けた提案が大変魅力的だった。 ・ 世代や対象ごとに多彩な事業やサービスを考えていることがうかがえる。 ・ 効率的な運営計画になっていると感じた。
その他の団体に対する主な意見	・ 提案のあった事業について、施設的环境や特色を活かし切れていないと感じた。 ・ 職員や有資格者の配置体制について、他者の方がより優れた点があった。 ・ 多くの自主事業提案があったが、施設の設置目的や県の施策目的との関連が少ない印象を受けた。 ・ 職員の配置体制について、緊急時の体制に課題があると感じた。

5 株式会社サンアメニティの提案の概要

① 基本方針

- ・ 豊かな自然を活かした体験活動で「元気」「絆」「感動」を育む
- ・ 地域の教育資源を活用した体験活動で「元気」「絆」「感動」を育む
- ・ 安全を確保し信頼される管理運営に努め、「安心」して活動できるように努める

② 自主事業計画

- ・ 「秩父・長瀨地域の自然環境を活かした事業」、「秩父・長瀨地域の伝統・文化を取り上げた事業」、「安心安全な利用に寄与する事業」、「防災・減災に関する事業」、「協力と問題解決をテーマにした事業」など37種類の事業を提案

例 施設の特徴を活かした自主事業の提案
長瀬リバーキッズ～秘密の川を探検しよう～
長瀬ぼうけんクラブ など

例 県の施策を踏まえた自主事業の提案
彩の国子ども・若者支援ネットワーク（アスポート）との連携事業 など

③ 利用者ニーズの把握及び実現策、待遇向上策

- ・ 利用者との直接コミュニケーションや意見箱を活用した利用者ニーズの把握
- ・ 利用者の要望に対しては、実現の可否に関わらず即時対応し、実現不可の場合はその理由を回答
- ・ 第三者外部機関による利用者満足度調査の実施
- ・ 地域ネットワーク協議会を通じた地域ニーズの掘り起こし

④ 施設設備の維持管理

- ・ 中長期的視点に立ち、施設の安全性や快適性を重視した維持管理の実施
- ・ 環境保全と環境負荷の低減に配慮した維持管理の実施

⑤ 管理執行体制

- ・ 現行の管理執行体制を継続し、安定的な体制の構築
- ・ 配置職員数：常勤職員 9 名、非常勤職員 3 名
- ・ 専門職員配置：社会教育主事、NEAL インストラクター等有資格者の配置
- ・ 研修計画：「運営マネジメント研修」、「管理マネジメント研修」、「危機管理研修」をはじめとした各種研修計画の策定

⑥ 収支予算案

- ・ 令和 8 年度指定管理委託料は、令和 7 年度当初予算と比較して約 11 % 増

⑦ 利用料金に関する考え方

- ・ 食事代、シーツ代等は市場動向を踏まえ、県と協議のうえ、適切に設定

⑧ 個人情報の取扱い

- ・ 法令を遵守した管理体制の構築と継続
- ・ 全職員に対する個人情報保護及び業務情報保護研修の実施

⑨ 危機管理体制

- ・ 地域の防災拠点として、緊急時における避難所を開設
- ・ 危機管理マニュアルの全面改訂及び防災備蓄品の準備・管理
- ・ 利用者参加型の避難訓練を年 1 回以上実施